

都市計画基礎調査実施要領の改訂のイメージ

(1) 現行要領の課題と一部改訂の方向性

課題① 現状の実施要領は、必ずしもGIS等のデータ整備を想定していないことから、各項目のデータフォーマットが不明確であり、地方公共団体によってアウトプットにバラツキあり。

方針① GISデータ（CityGML形式）として整備する内容を明示するとともに、GISデータのフォーマット（ジオメトリの種類（ポイント／ポリゴン等）、データ型、単位等）を統一化。CSVデータ（集計表）についても集計単位やデータ型を明示。

課題② 収集項目または調書項目などの属性項目に係る記載内容の不整合・表記ゆれあり。

方針② 収集項目または調書項目などの属性項目に係る記載内容の整合性確保・用語の統一等の対応。

課題③ 原典データが複数記載されている場合等の採用ルールがなく、原典データと実施要領の「収集項目／調書」に不整合（不明確な部分）あり。

方針③ 原典データの採用ルール等の検討、原典データと実施要領の「収集項目／調書」の整合性確保および明示

【原典データの採用ルール（案）】

- ・データの入手性や全国均質なデータ整備の観点から、オープンデータが存在する場合は、当該データを原典に採用する。
- ・現状の実施要領にはGISデータに関する記載がない場合でも、最新のオープンデータが入手可能な場合は、実施要領上でもGIS化を検討例）将来人口メッシュ等

(2) 現行要領の改訂イメージ (対応方針① : GISデータの収集単位・ジオメトリの種類の明確化)

C0402 大規模小売店舗等の立地状況

データ項目	C0402 大規模小売店舗等の立地状況																																			
収集方法	<p>【収集項目】 位置、大規模小売店舗/大規模集客施設への該当、開設/廃止年、延床面積、施設名称、施設用途</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 施設毎</p> <p>【収集方法】 大規模小売店舗立地法及び大規模小売店舗における小売業の整理に関する法律に基づく届出資料等から収集</p> <p>【留意事項】 新施設及び変更(廃止含む)の届出に基づくこととし、調査時、設中の施設についても対象とする。</p>																																			
データ作成方法	<p><調査></p> <p>(〇〇市(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>大規模小売店舗^{※1}</th> <th>大規模集客施設^{※2}</th> <th>開設年^{※3}</th> <th>廃止年^{※3}</th> <th>延床面積</th> <th>施設名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 該当するものに○を記載。(大規模集客施設は、建築基準法に基づく大規模集客施設(床面積1万㎡超の店舗、映画館、アミューズメント施設、展示場等)に当てはまるもの)</p> <p>※2 廃止の場合に廃止年を記載。</p> <p>※3 大規模小売店舗については「食品スーパー」「百貨店・スーパー・ショッピング寄合百貨店・小売市場」「ホームセンター・専門店(家具・家電・書籍等)区分、大規模小売店舗でない大規模集客施設は「店舗以外」とする。</p> <p><位置図></p> <p>・大規模小売店舗等の立地状況を地図に表示する。(下図はイメージ)</p> <p>(〇〇市(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在))</p>	位置	大規模小売店舗 ^{※1}	大規模集客施設 ^{※2}	開設年 ^{※3}	廃止年 ^{※3}	延床面積	施設名称	①							②							③							⋮						
位置	大規模小売店舗 ^{※1}	大規模集客施設 ^{※2}	開設年 ^{※3}	廃止年 ^{※3}	延床面積	施設名称																														
①																																				
②																																				
③																																				
⋮																																				
集計方法	—																																			

①収集単位が建物単位なのか敷地単位か不明確

自治体により収集単位が異なる。
 ①複数棟からなる単一施設
 ②単一棟に複数施設が入居
 上記の扱いが不明確(届出単位の確認)

収集単位を原典データの単位(建物)に統一・明記

自治体により調査項目が異なる

原典資料(届出)を明確にし、原典資料の項目を使用

②<位置図>ジオメトリの種類が明示されていない。

自治体によりジオメトリがポイント/ポリゴン等が混在

GISデータのジオメトリとして建物ポリゴンを指定(明記)
 建物現況データのポリゴンを利用

C0902 災害の発生状況

データ項目	C0901 災害の発生状況																																																																																
収集方法	<p>【収集項目】 既往災害(水害及び土砂災害)の位置、名称・地区名、発生年月日、被害状況</p> <p>水害・震災・土砂災害等に関する災害リスク情報</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 災害の種類毎</p> <p>【収集方法】 既往災害:庁内資料から収集 災害リスク情報:国や都道府県・市町村によりハザードマップ等が作成済み</p> <p>①データ項1つであるものの、災害の種類によって複目は数個のデータを整備する必要</p> <p>取得元URL: 国土災害情報システム https://nlitp.mlit.go.jp/ksj/index.html</p> <p>【留意事項】 前回調査結果にそれ以降に発生した災害を追加し、可能な限り長期間のデータを収集する。</p>																																																																																
データ作成方法	<p><調査></p> <p>・水害(外水(洪水、高潮、津波))</p> <p>(〇〇市(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>名称・地区名</th> <th>発生年月日</th> <th>浸水面積</th> <th>床上浸水</th> <th>床下浸水</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td>ha</td> <td>戸</td> <td>戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・水害(内水)</p> <p>(〇〇市(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>名称・地区名</th> <th>発生年月日</th> <th>浸水面積</th> <th>床上浸水</th> <th>床下浸水</th> <th>最大時間雨量</th> <th>総雨量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td>ha</td> <td>戸</td> <td>戸</td> <td>mm/h</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・土砂災害(土石流・がけ崩れ等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>名称・地区名</th> <th>発生年月日</th> <th>被害箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><位置図></p> <p>・災害の発生状況を地図に表示する。(下図はイメージ)</p> <p>(〇〇市(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在))</p> <p>水害(外水) (ポリゴン) 水害(内水) (ポリゴン) 土砂災害(土石流・がけ崩れ) (ポイント) 土砂災害(がけ崩れ発生回数) (メッシュ) →4種類のデータとしてそれぞれジオメトリを指定</p>	位置	名称・地区名	発生年月日	浸水面積	床上浸水	床下浸水	備考	①			ha	戸	戸		②							⋮							位置	名称・地区名	発生年月日	浸水面積	床上浸水	床下浸水	最大時間雨量	総雨量	備考	①			ha	戸	戸	mm/h	mm		②									⋮									位置	名称・地区名	発生年月日	被害箇所	①				②				⋮			
位置	名称・地区名	発生年月日	浸水面積	床上浸水	床下浸水	備考																																																																											
①			ha	戸	戸																																																																												
②																																																																																	
⋮																																																																																	
位置	名称・地区名	発生年月日	浸水面積	床上浸水	床下浸水	最大時間雨量	総雨量	備考																																																																									
①			ha	戸	戸	mm/h	mm																																																																										
②																																																																																	
⋮																																																																																	
位置	名称・地区名	発生年月日	被害箇所																																																																														
①																																																																																	
②																																																																																	
⋮																																																																																	

(2) 現行要領の改訂イメージ (対応方針②) : 記載内容の整合性確保・用語の統一等

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

データ項目	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度																																
収集方法	<p>【収集項目】 平日・休日 12 時間 (24 時間) 自動車類交通量、ピーク時間交通量 (台/時)、大型車混入率、平均混雑度 (平日)、混雑時平均旅行速度</p> <p>【収集範囲】 行政区域 (主要幹線道路)</p> <p>【収集単位】 各路線・観測地点</p> <p>【収集方法】 全国道路・街路交通情勢調査 (一般交通量調査) 報告書から収集 取得先 URL: 一般交通量調査結果 https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/ir-data.html</p> <p>【留意事項】 -</p>																																
データ作成方法	<p><調査></p> <p>(〇〇年度全国道路交通情勢調査 (道路交通センサス) 報告書 節別基本表をもとに作成)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>観測地点名</th> <th>平日 12 時間交通量</th> <th>平日 24 時間交通量</th> <th>大型車混入率</th> <th>混雑度</th> <th>混雑時平均旅行速度</th> <th>位置図対応番号</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>台</td> <td>台</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>A</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>:</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	観測地点名	平日 12 時間交通量	平日 24 時間交通量	大型車混入率	混雑度	混雑時平均旅行速度	位置図対応番号			台	台	%			A	...							B								:
路線名	観測地点名	平日 12 時間交通量	平日 24 時間交通量	大型車混入率	混雑度	混雑時平均旅行速度	位置図対応番号																										
		台	台	%			A																										
...							B																										
							:																										

路線番号	路線名	昼間非混雑時		昼間12時間		平成22年度				道路状況調査単位区間番号	区間延長			
		上り	下り	平均旅行速度	混雑時	旅行速度		改善済み区間率						
		旅行速度・非計測の別	旅行速度・非計測の別	上り	下り	都道府県コード	旅行速度調査番号	上り	下り	上り	下り	都道府県コード	調査番号	

③原典データでは、「上り」、「下り」の区分が存在
<調査>の項目には区分が存在せず「上り」「下り」が不明確

均質なデータ整備の観点から、原典データのデータ項目をそのまま採用することを推奨

C0304 宅地開発状況

データ項目	C0304 宅地開発状況																					
収集方法	<p>【収集項目】 位置、事業方法、面積、用途等</p> <p>・対象は、次に列挙したものを基本とする。 市街地再開発事業、住宅地区改良事業、土地区画整理事業、新住宅市街地開発事業、工業団地造成事業、流通業務団地造成事業、一団地の住宅施設建設事業、公有水面埋立事業、新都市基盤整備事業、住宅街区整備事業、防災街区整備事業、その他公的な宅地造成、開発許可による開発</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 事業毎</p> <p>【収集方法】 市街地開発事業等 (都市計画課) 都市計画図 (市街地開発事業) 図</p>																					
データ作成方法	<p><調査></p> <p>(市街地開発事業等) (〇〇市 (基準日: 〇〇年〇〇月〇〇日現在))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>決定年月日^{※1}</th> <th>市街地開発事業名称</th> <th>進捗状況</th> <th>事業費^{※2}</th> <th>整備済</th> <th>事業期間^{※3}</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計画</td> <td>事業中</td> <td>百万円 / 百万円</td> <td>ha</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>〇〇土地区画整理事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>~</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当初決定より 変更を含め古い順に記入する。 ※2 過年度末までの事業費、総事業費を記入する。 ※3 右側に事業開始年日、左側に事業完了年日を入力。現在事業中のものは記入可</p>	決定年月日 ^{※1}	市街地開発事業名称	進捗状況	事業費 ^{※2}	整備済	事業期間 ^{※3}	備考			計画	事業中	百万円 / 百万円	ha		...	〇〇土地区画整理事業					~
決定年月日 ^{※1}	市街地開発事業名称	進捗状況	事業費 ^{※2}	整備済	事業期間 ^{※3}	備考																
		計画	事業中	百万円 / 百万円	ha																	
...	〇〇土地区画整理事業					~																

①【収集項目】と【調査】の記載内容に相違

②開発内容によってジオメトリと項目が異なることを明記・データとして区分

(開発許可による開発) (〇〇市 (基準日: 〇〇年〇〇月〇〇日現在))					
位置	事業面積	事業期間	主な用途	進捗状況 ^{※4}	備考 ^{※5}
①	m ²			X X X	

※4 以下の分類に沿って記載する。
a: 調査実施時点で完了しているもの
b: 現在施行中のもの、又は開発審査会による開発許可を受けたもの
※5 市街地調整区域内の開発については、その旨を記す。

(2) 現行要領の改訂イメージ (対応方針③ : 原典データとの整合性確保(項目の分類体系・基準の明確化))

C1002 景観・歴史資源等の状況

データ項目	C1002 景観・歴史資源等の状況																								
収集方法	<p>【収集項目】 次に示す景観・歴史資源等の場所等 景観地区、風致地区、歴史的風致形成建造物、国宝・重要文化財(建造物)、重要有形民俗文化財、史跡、名勝、重要伝統的建造物群保存地区、伝統的建造物群保存地区、国登録有形文化財(建造物)、埋蔵文化財包蔵地、景観重要建造物、景観重要樹木、その他都道府県や市町村が選定した資源</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 資源毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料から収集</p> <p>【留意事項】 ・国、都道府県、市区町村、学会、その他民間団体等から指定されている資源を幅広く収集する。 ・国土数値情報ダウンロードサービス(不動産・建設経済局)において、(財)日本交通公社が事務局として設置した「観光資源評価委員会」が検討・選定し作成した「観光資源台帳」に掲載されている観光資源のうち、評価ランクが B 級以上の観光資源データが活用可能。 取得先 URL: 観光資源 https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html</p>																								
データ作成方法	<p><調査></p> <p>(〇〇市(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観光名称</th> <th>資源の種類^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 下表の例を参考に、自然系、歴史文化系、生活・産業系、眺望系の別を記入。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>点</th> <th>線</th> <th>面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然系</td> <td>・山頂 ・池、島 ・天然記念物 等</td> <td>・線路 ・河川、海岸線 ・山裾の樹林地境界</td> <td>・平地、大地 ・大きな湖沼、海 ・広がりを持つ樹林地</td> </tr> <tr> <td>歴史・文化系</td> <td>・主な寺社、歴史的建造物 ・遺跡、史跡 等</td> <td>・歴史的町並み(街道沿い等) ・街道 ・掘削跡、運河</td> <td>・歴史的町並み(城下町等、面積な広がりを持つもの)</td> </tr> <tr> <td>生活・産業系</td> <td>・主な公共施設 ・交通ターミナル ・主な橋梁 ・主な公園 ・特長ある大規模施設 等</td> <td>・幹線道路 ・通りに沿った商店街 ・鉄道</td> <td>・市街地開発事業区域 ・中心商業地 ・工業地</td> </tr> <tr> <td>眺望系</td> <td>・視点場(展望台等) ・ランドマーク ・アイストップ</td> <td>・ビスタ ・シークエンス</td> <td>・パノラマ</td> </tr> </tbody> </table>	観光名称	資源の種類 ^{※1}	...			点	線	面	自然系	・山頂 ・池、島 ・天然記念物 等	・線路 ・河川、海岸線 ・山裾の樹林地境界	・平地、大地 ・大きな湖沼、海 ・広がりを持つ樹林地	歴史・文化系	・主な寺社、歴史的建造物 ・遺跡、史跡 等	・歴史的町並み(街道沿い等) ・街道 ・掘削跡、運河	・歴史的町並み(城下町等、面積な広がりを持つもの)	生活・産業系	・主な公共施設 ・交通ターミナル ・主な橋梁 ・主な公園 ・特長ある大規模施設 等	・幹線道路 ・通りに沿った商店街 ・鉄道	・市街地開発事業区域 ・中心商業地 ・工業地	眺望系	・視点場(展望台等) ・ランドマーク ・アイストップ	・ビスタ ・シークエンス	・パノラマ
観光名称	資源の種類 ^{※1}																								
...																									
	点	線	面																						
自然系	・山頂 ・池、島 ・天然記念物 等	・線路 ・河川、海岸線 ・山裾の樹林地境界	・平地、大地 ・大きな湖沼、海 ・広がりを持つ樹林地																						
歴史・文化系	・主な寺社、歴史的建造物 ・遺跡、史跡 等	・歴史的町並み(街道沿い等) ・街道 ・掘削跡、運河	・歴史的町並み(城下町等、面積な広がりを持つもの)																						
生活・産業系	・主な公共施設 ・交通ターミナル ・主な橋梁 ・主な公園 ・特長ある大規模施設 等	・幹線道路 ・通りに沿った商店街 ・鉄道	・市街地開発事業区域 ・中心商業地 ・工業地																						
眺望系	・視点場(展望台等) ・ランドマーク ・アイストップ	・ビスタ ・シークエンス	・パノラマ																						

分類体系の基準・レファレンスが不明瞭

観光資源 第2.2版	<p>原典データとして例示されている 国土数値情報DLサービスの「観光資源」 の分類項目等のレファレンスが明確な基準を 採用</p>
更新履歴	
内容	<p>(財)日本交通公社が設置した「観光資源評価委員会」が検討・選定し作成した「観光資源台帳」に掲載されている観光資源のうち評価ランクがA級以上のもの、及び観光庁が保有する各都道府県の観光地点等に関する情報を整備した「観光地点等名簿」に記載されるものを統合したものである。</p>
データの基準となる年月日	「平成26(2014)年9月30日時点」
関連する法律	-
原典資料	<p>(財)日本交通公社 観光資源評価委員会「観光資源台帳」 観光庁「観光地点等名簿」 国土地理院「数値地図(国土基本情報)、電子国土基本図(地図情報)、基盤地図情報」 国土政策局「国土数値情報(行政区域)平成26年、(河川)平成21年度、(湖沼)平成17年」</p>

コード	対応する内容
1	自然(行催事・イベント)
2	歴史・文化
3	温泉・健康
4	スポーツ・レクリエーション
5	都市型観光・買物・食-
6	その他

(参考) 都市計画基礎調査実施要領項目のCityGML仕様化方針

○基礎調査実施要領で求めているアウトプットとして、<調書>、<位置図>、<集計表>があり、項目ごとにアウトプットのデータ形式と標準化を見据えた内容に改訂予定

- ①<調書> (属性テーブル) + <位置図> (ジオメトリ) のセットとなっている項目について、仕様化対象とする。
- ②<位置図> のみの項目の場合で、原典となるGISデータがある場合は、仕様化対象とする。
- ③<調書> のみの項目の場合、原典データが表データであるため、GISデータとしての仕様化対象としない
- ④<集計表> は副次的に必要なに応じて、下記の方法で作成する表形式データ (CSV・XLSX) はGISとしての仕様化対象としない
 - i) GISデータから、行政区域・区域別に集計
 - ii) 原典の調査票・表形式のデータから整理して作成→集計表 (CSVデータ) については、集計表の集計項目、集計単位、集計項目のデータ型等について別途標準化

実施要領項目のアウトプット形式の明確化 (仕様化/標準製品仕様との対応関係を明確化)